

心に残る文化財子ども塾 出雲市立今市小学校

1. 活動の概要

6月5日（金）、出雲市立今市小学校に伺いました。6年生78名の参加で、2時間に分けて実施しました。「奈良の大仏の巨大さと、込められた思い」をテーマに、奈良の大仏の実物大パネルを組み立てました。無作為に並べられた188枚のシートを組み合わせ、実物大の奈良の大仏を体育館に出現させるというものです。大仏パネルが完成したのち、大仏造営当時の様子を、クイズを交えて説明しました。最後に、音楽の時間に学習した雅楽を演奏しながら、大仏の開眼式を行いました。

2. 活動の様子



▲床一面に散らばったパネルを組み合わせます



▲完成しました！



▲雅楽の演奏にのせて、大仏の開眼です。

3. 活動を終えて

① 児童の皆さんから

- ・大仏はいろいろな人の力によって作られてすごいと思いました。
- ・大仏について説明してもらったとき、細かいところまで分かりやすく説明してもらえて良かった。
- ・大仏の実際の大きさがとても大きいことが心に残りました。
- ・すべてが知らないことだったので、とても興味があった。

② 担任の先生から

- ・実際の大きさを体験的に理解できた。
- ・詳しい解説が子どもに分かりやすかった。

③ 古代出雲歴史博物館から

大仏の大きさを目の当たりにして、驚きの声があちこちで上がりました。大仏についての質問も多数あり、興味を持って学んでもらえてのではないかと思います。